

Let'sアクティブ・ラーニング3 -中2のICT数学-

2月16日(木)、2年次(中2)数学の「アクティブ・ラーニング」を見学しました。一人一台のタブレット(Surface Pro 4)を使用した「ICT数学」でした。担当の近藤先生は、高校籍の先生で、今年度からICT機器の活用に取り組んでいます。

本校は、「アクティブ・ラーニング」とともに「ICT教育」にも力を入れています。現在、本校では、生徒用タブレットとして、Appleの「iPad Air」40台と、Microsoftの「Surface Pro 4」40台を所有しており、各教室には無線LAN(Wi-Fi)が完備されています。学習支援ソフトは、「iPad Air」では「ロイロノート」を、「Surface Pro 4」では「SKYMENU」を主に活用しています。

本日の単元は「三平方の定理の応用」、本時のねらいは「図の中に直角を見つけて三平方の定理を適用し、いろいろな問題を解決する」でした。

前半は、先生から各自のタブレットに送信された問題について、生徒たちがアクティブに解答していました。その結果を「SKYMENU」を使って大型スクリーンに投影して、共有することもしていました。また、普段から「アクティブ・ラーニング」を実施しているため、分からない時には、自然に「対話的な学び」ができていました。

後半は、地元の寺社に伝わる「算額(さんがく)」に挑戦でした。「算額」とは、江戸時代に、額や絵馬に和算の問題や解法を書いて、神社や寺院に奉納したものです。平面幾何学の問題が多いのが特徴で、三平方の定理で解けるものもあるため、生徒たちは、夢中になってチャレンジしていました。問題に真剣に取り組む生徒の表情を見て、数学の授業が「深い学び」に繋がっていることを感じました(^ _ ^)v。



◆本日の「校内AL公開授業」も多くの先生方が見学に見えていました。担当の近藤先生が「算額」の問題を「ワード」で作図したと聞いて、大変だったろうなと思いました。